

# 大阪湾岸 防災対策見て歩き

-津波・高潮対策の現場を見てみよう-

## 開催報告

1. 開催日：2025 年 12 月 7 日（日）10:30～16:00 頃

2. 見学先：（右は見学ルート図）

- ① 津波・高潮ステーション
- ② 港区土地区画整理記念・交流会館、
- ③ 地盤かさ上げ地（市岡高校付近）
- ④ 尻無川水門
- ⑤ 大地震両川口津波碑

3. 参加者：

市民参加者 20 人、  
CVV スタッフ 10 人  
計 30 人

4. 見学内容

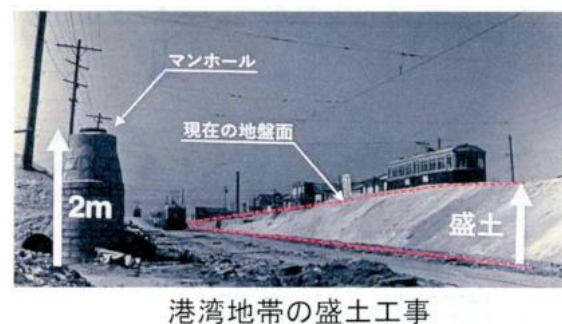
公募により 20 歳代から 70 歳代までの 20 人の市民の方々に参加をいただきました。午前 10 時半に大阪府西大阪治水事務所の会議室に集合し、CVV スタッフが PPT を使って見学会の概要を説明しました。その後、隣接する津波・高潮ステーションに移動し、1 時間ほど専任者より展示物の説明を受け、津波の映像を観ました。



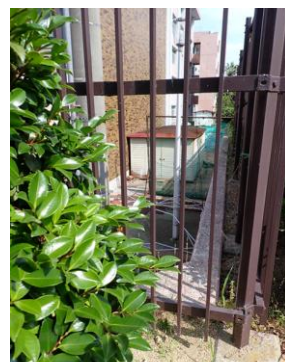
午後からは弁天町に移動し、駅に隣接する港区土地区画整理記念・交流会館へ行きました。港区では戦災からの復興と高潮への対策を目的として区域の約 9 割で約 2m の盛土方式による「港地区復興土地区画整理事業」が実施されました。それを記念する交流会館です。館内にある区画整理記念スペースの展示物を CVV スタッフが説明しました。



その後、3 班に分かれて、徒歩にて地盤嵩上げ区域と未実施区域が明確に分かれているところを見学しました。下図（左）が現在の地盤高さを表しています。黄緑部が高く（盛土部）で青色部は低地域域です。盛土工事中は下図（右）に示すようにマンホールを 2m ほど高くし、地盤高さがマンホールの天端と一致するように盛土をしたそうです。



市岡高校付近は、盛土部の境界にあたります。路上から高校敷地をのぞきこむと 2m の高低差を実感できました。





さらに尻無川方面に歩くと鉄道路線の廃止跡があります。大阪市電および大阪臨港貨物線の廃止跡の説明もしました。

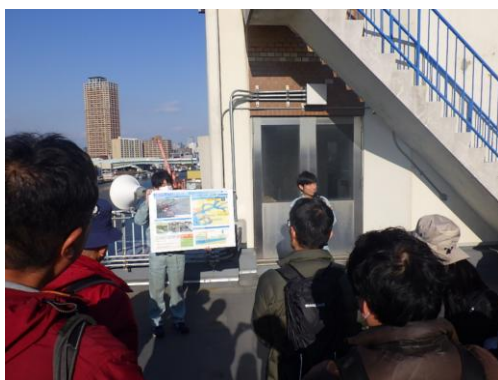


尻無川は甚兵衛渡船場から船で渡りました。この渡船は大阪市が運営する渡船場の一つで、両岸の距離は 94m あります。渡船の途中に上流側に尻無川水門が見えました。



尻無川水門事務所では屋上に上がり、西大阪治水事務所の専門家の説明を受けました。尻無川水門は 1970 年に完成しました。アーチ型を選んだ理由は、当時は舟運がさかんで航行を考慮した空間の確保が必要だったためと言われています。

尻無川水門と同形式の水門が安治川、木津川にもあります。これらの水門は建設後 50 年以上が経過し更新が必要になりました。新しい水門は津波にも耐える強度をもつ引き上げ式ローラゲートが選定されています。

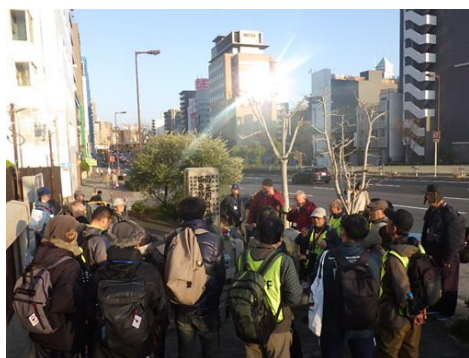




大正区にある尻無川左岸の道路は直立した防潮堤の川側にあります。堤防の外にあるため、洪水や高潮の恐れのあるときは、防潮鉄扉（下図の左）は閉められます。防潮堤の上に登って見ると、傍に建つ住宅の2階が防潮堤の天端とほぼ同じ高さです（下図の右）。高潮・津波ステーションでの説明がよくわかりました。



午後3時半頃に、見学会のゴールである大正橋の袂にある両川口津波碑に着きました。1854年の安政南海地震によって生じた津波により、この場所で多くの人々が亡くなりました。地元の人達は、この被害を忘れないように、碑に願いを刻み、毎年地蔵盆にあわせて石碑を洗い、刻まれた文字に墨を入れるのが年中行事になっています。



## 5. あとがき

見学会では、大阪府西大阪治水事務所に、事前説明会場の使用、津波・高潮ステーションの解説、尻無川水門での説明など、大変お世話になりました。

大阪市港区には、港区土地区画整理記念・交流会館の使用、広報誌への掲載など、協力をいただきました。

さらに、土木学会関西支部、地盤工学会関西支部、日本建設業連合会関西支部、日本橋梁建設協会、建設コンサルタント協会近畿支部には、この催しをホームページに掲載し、参加者の募集の後援をしていただきました。お蔭様で、盛会のうちに、無事見学会を終えることができました。厚くお礼を申し上げます。

CVV では活動の柱に「技術伝承」、「市民広報」、「若手育成」を挙げています。今回の見学会の参加者アンケートでは、感想として「勉強になった」、「啓発された」とのお言葉をいただきました。なお、港区広報誌を見ての参加が 4 名あり、一般市民の方に土木の仕事を知っていただく機会になったと嬉しく思っています。さらに、参加者の年代は 20 歳代から 70 歳代まで広く分布していますが、若手の方 4 名の参加がありました。アンケートの詳細内容は、添付資料をご覧ください。

なお、CVV は、今回の経験を活かして、来年度以降の定期的な市民見学会開催につなげていきたいと思いますので、今後とも、ご支援をよろしくお願いします。

## 6. 添付資料

- (1) CVV : 「大阪湾岸 防災対策見て歩き」(机上説明資料)、2025 年 12 月 7 日
- (2) CVV : 市民参加者のアンケート結果

### 【CVV スタッフ】

青木	伸一
阿部	俊
石原	靖弘
祝	賢治
宇野	宏司
栗田	秀明
黒山	泰弘
野坂	俊雄
南荘	淳
古川	博一